



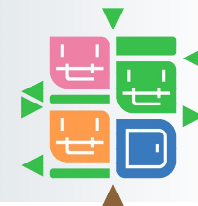
SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



人と人がデジタルでつながる ~People Connected by Digital~  
スマートシティ伊勢推進協議会

# 令和7年度スマートシティ伊勢推進協議会 担当者会議

伊勢市 情報戦略局 デジタル政策課

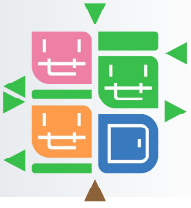


1. 今年度の取り組み P.3
2. 検討中の取り組み P.23
3. 各団体の取り組み P.26
4. 取り組み紹介ホームページについて P.27

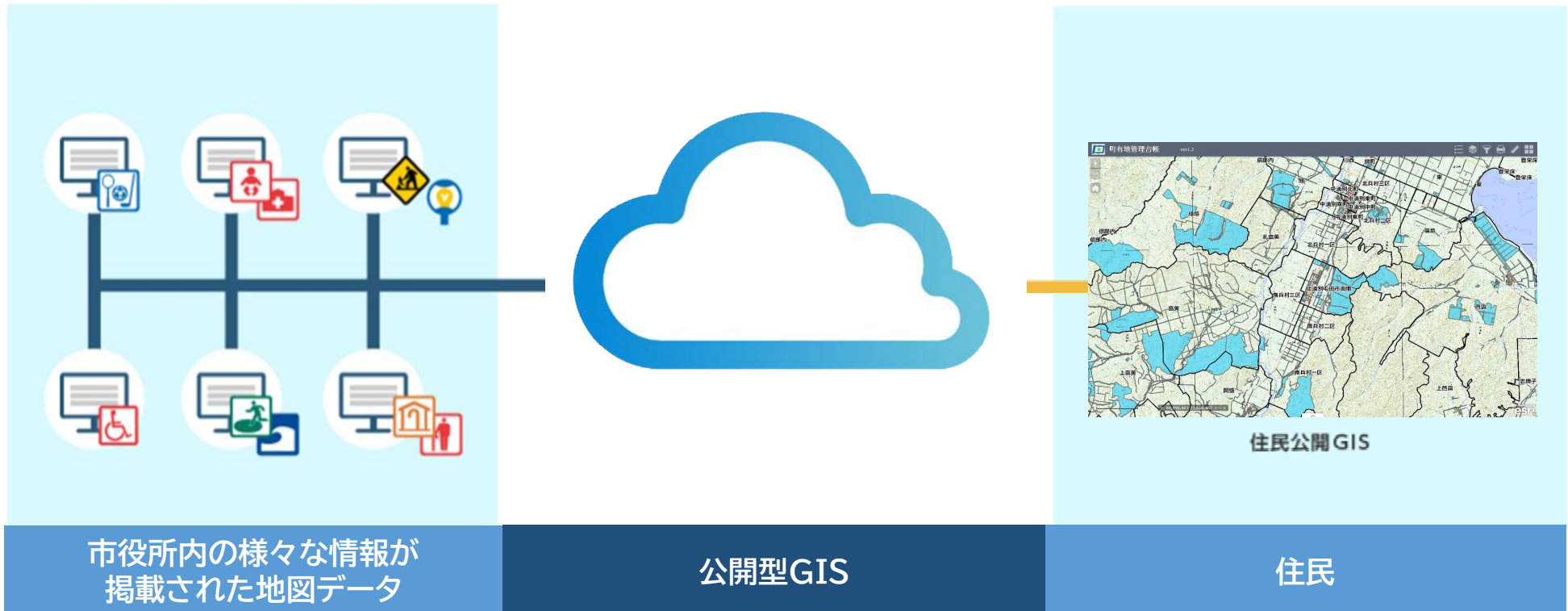


# 1. 今年度の取り組み

# 公開型GISとは



公開型GIS (Geographic Information System)とは  
住民や企業等に対して情報を提供することを目的とした地理情報システム



人と人がデジタルでつながる ~People Connected by Digital~

スマートシティ伊勢推進協議会

# 公開型GISで市民も職員も便利に！！



## 自治体DX推進＝利便性向上＋業務効率化

### 【利便性向上】市民サービスの充実

- ✓ 誰でも市の様々な情報を、場所や時間に左右されず、Web上の地図で見れます！！
- ✓ 様々な地図情報を同時に見れるから、他の地図情報との比較が簡単にできます！！



### 【業務効率化】窓口業務削減

- ✓ 窓口で行っていた市が保有する地図情報の閲覧などが、オンラインで出来るようになることで、業務効率化に繋がり、空いた時間を他の住民サービスに使ったり、別の業務に使うことが出来る。

# 公開型GISでは、こんなことも出来ます！！



## 道路情報投稿アプリ



道路や標識、ミラーなどの  
破損や落石などの情報を投稿可能！

破損個所に利用者がある場合は、GPS情報を取得し、正確な被害情報を把握できる！

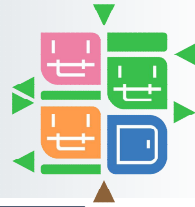
災害情報についても、例えば大雨の時の水没した場所を地図上で誰でも見れる！

## 3D都市モデルの表示

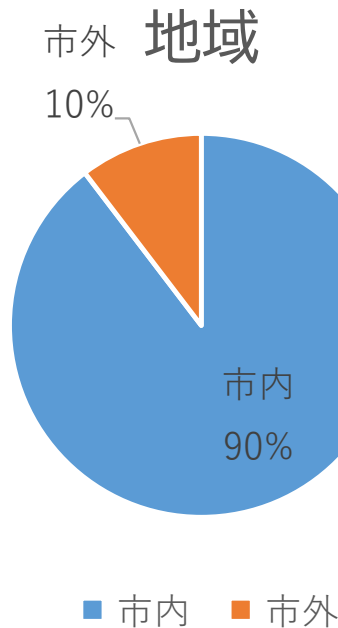
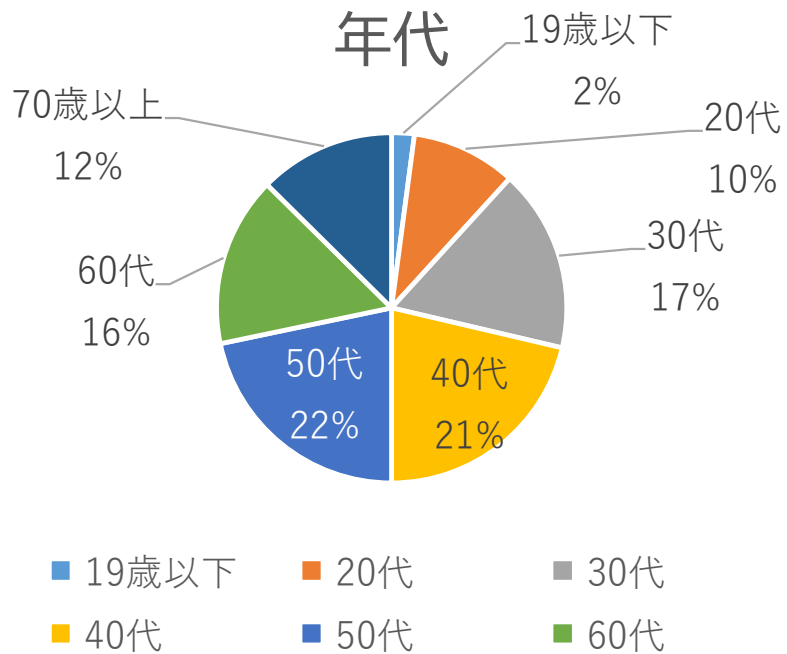


立体的な地形や建物、土砂災害危険区域などを、3Dで可視化し、直感的で分かりやすく伝えることが可能！

# 伊勢市公式LINEの利用状況



友だち:34,786人 受信設定:19,947人  
(2025年8月末時点)



人と人がデジタルでつながる ~People Connected by Digital~

スマートシティ伊勢推進協議会



# 伊勢市公式LINEの更新

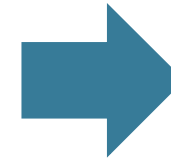
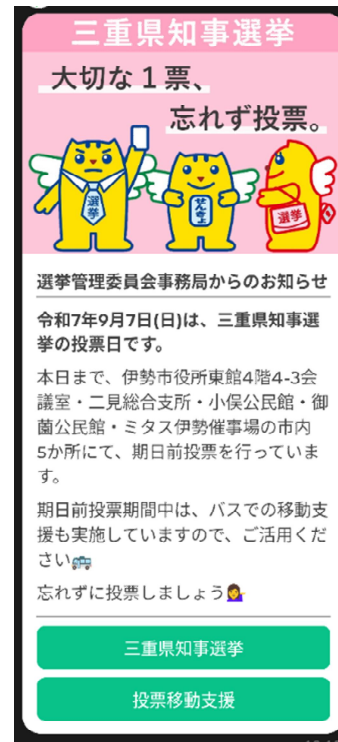
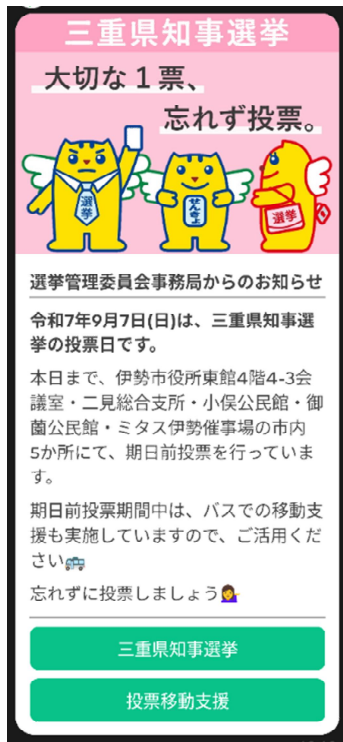


## 【現行システム】(~R8.3)

配信した内容がどれだけ見られたか、ボタンをタップされたかが分からない…。

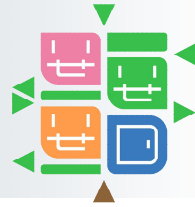
## 【次期システム】(R8.4~)

どんな属性(年代や性別など)の方が、どの配信を見て、中身まで見てもらえたかが分かる。



市民がどんなことに**興味**を持っていて、**知りたいか**を**把握**し、これからの**施策**に**反映**していく。

# 次期「伊勢市デジタル行政推進ビジョン」の策定



I デジタル技術を活用した、人に優しいサービスの提供					
■ 施策1 来庁を不要とする行政手続き 新たなプラットフォームを活用した手続き					
施策	目的	スマートフォンやパソコン等を利用して、時間や場所を問わずにオンラインで行える手続きを充実させることで、関係者の利便性向上、手続きの簡素化及び業務の効率化を目指します。			
	内容	手続きのオンライン化に関するノウハウを各部署へ共有する等、手続きの簡素化や業務の効率化を見直す機会を提供します。対象手続きを随時見直しながら、オンライン化手続きを拡充します。			
	スケジュール	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	研修会の開催	→	→	→	→
対象手続きの見直し	→	→	→	→	
オンライン化の拡大	→	→	→	→	
成果指標	成果	フォーム作成や手続きの見直しのポイント、オンライン化を通じた業務効率化のノウハウが蓄積することで、手続きのオンライン化の拡大につながる。オンライン化した手続きが充実することで、多様なニーズに対応した行政サービスを提供できるようになり、利用者の利便性が向上する。			
	数値目標 (KGI)	オンライン化した手続き数：100件(累計) (参考:令和4年2月1日時点 30件)			
	実施評価指標 (KPI)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	オンライン化した手続き数(累計)	50件	70件	90件	100件
目標管理課	デジタル政策課				

令和3年度に策定した、市役所内のデジタル化を進めるための計画「伊勢市デジタル行政推進ビジョン」が、令和7年度末で計画の最終年度を迎えるため、新たに計画を策定。

## 【現行の伊勢市デジタル行政推進ビジョンの考え方】

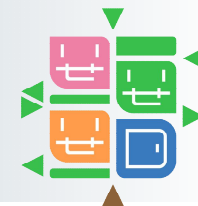
- ・ デジタル化ありき
- ・ 数字目標に重きを置いている
- ・ 市民サービスの向上第一



## 【次期伊勢市デジタル行政推進ビジョン(事務局案)の考え方】

- ・ デジタル化ありきではなく、そこへ至るまでの行程に重きを置く
- ・ 数字目標は置くが、それ以上に中身が重要
- ・ 市民サービスの向上と同レベルで、業務効率化(職員の労働環境改善)を重視

# DX人材の育成



職員が減少する時代に、これまでと同等の市民サービスを提供するためには、デジタルツールの活用が必須であるが、それを活用するDX人材の育成が必須！

◎:実行・けん引できる ○:実行できる △知識を有している ★けん引できる

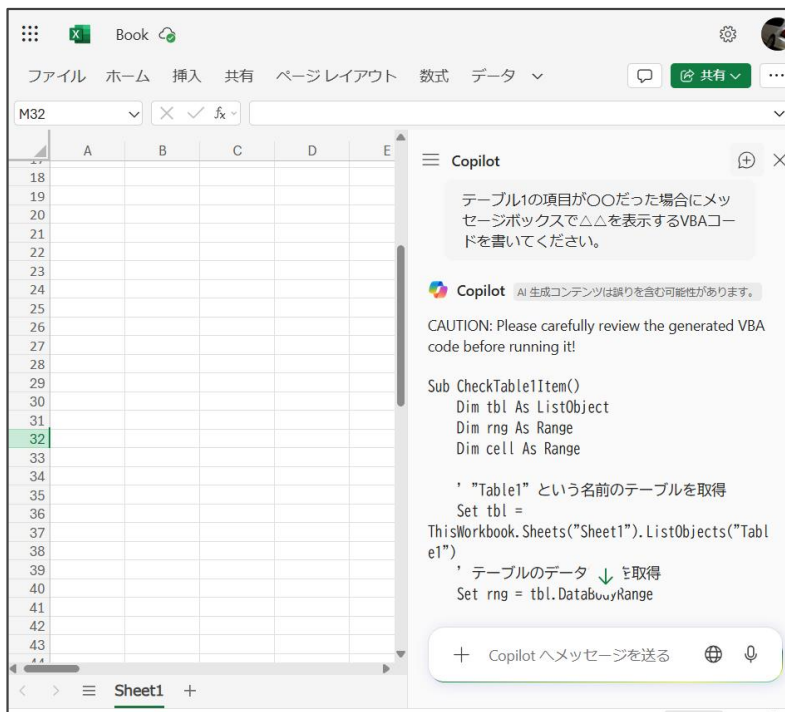
分類	スキル	概要	DX 活用人材	DX リーダー	DXシニア リーダー	デジタル エキスパート	管理職
マインド	自治体DX推進	自治体がDX推進を求められている背景や意義を理解し、自治体職員としてDXに取り組むことができる	△	○	◎		◎
	サービスデザイン思考	サービス構築にあたって、利用者ニーズを把握し、それを満たすものでなければいけないことを理解した上で、構築することができる	△	○	◎	△	◎
マネジメント	BPR	BPRの知識を習得しており、その知識を活用し、業務改善に取り組むことができる	○	○	◎	△	★
	DX計画立案	計画を立案する際の手法やポイントを理解し、全庁的にDXを推進するための計画を立案することができる	○	○	◎	○	★
	システム企画・調達	情報収集や提案依頼を行い、適切な事業者を選定し、システムや機器を調達することができる		△	○	◎	
	プロジェクトマネジメント	プロジェクト管理に関する知識を有し、円滑なコミュニケーションを取りながら進めることができる		○	◎	△	◎
ICT	ICT基礎	ハードウェア・ソフトウェア・データベース・ネットワーク・クラウド等のICTを構成する要素やデジタル技術の基礎を理解しており、実務に活用することができる	△	○	○	◎	△
	ICT応用	高度なデジタル技術に関する知識を有しており、実務に活用することができる			○	◎	
	情報セキュリティ	情報セキュリティに関する基本的な概念やセキュリティ対策などの知識を有しており、リスク管理やインシデント対応をすることができる	△	○	○	◎	◎
	生成型AIの活用	生成型AIの基礎知識や生成型AIを効果的に活用するためのポイントを理解しており、業務効率化に活用することができる	○	○	◎	◎	★
	デジタルツールの活用(初級)	Excel、Word、PowerPointなどの各種オフィスソフトやGaroonを始めとする基本的なデジタルツールの利用方法を習得しており、日常業務で活用することができる	○	◎	◎	○	★
	デジタルツールの活用(中級)	RPA・AI-OCR・ローコードツール等の中級レベルのデジタルツールの利用方法を習得しており、業務効率化や市民サービスの向上に活用することができる		○	◎	◎	★

人と人がデジタルでつながる ~People Connected by Digital~

# Microsoft Copilot/Google Geminiの活用



さらなる業務効率化をするにあたっては、生成AIの活用が最も期待されている。  
Microsoft Officeに融合したCopilotなどの生成AIを積極的に活用していく。

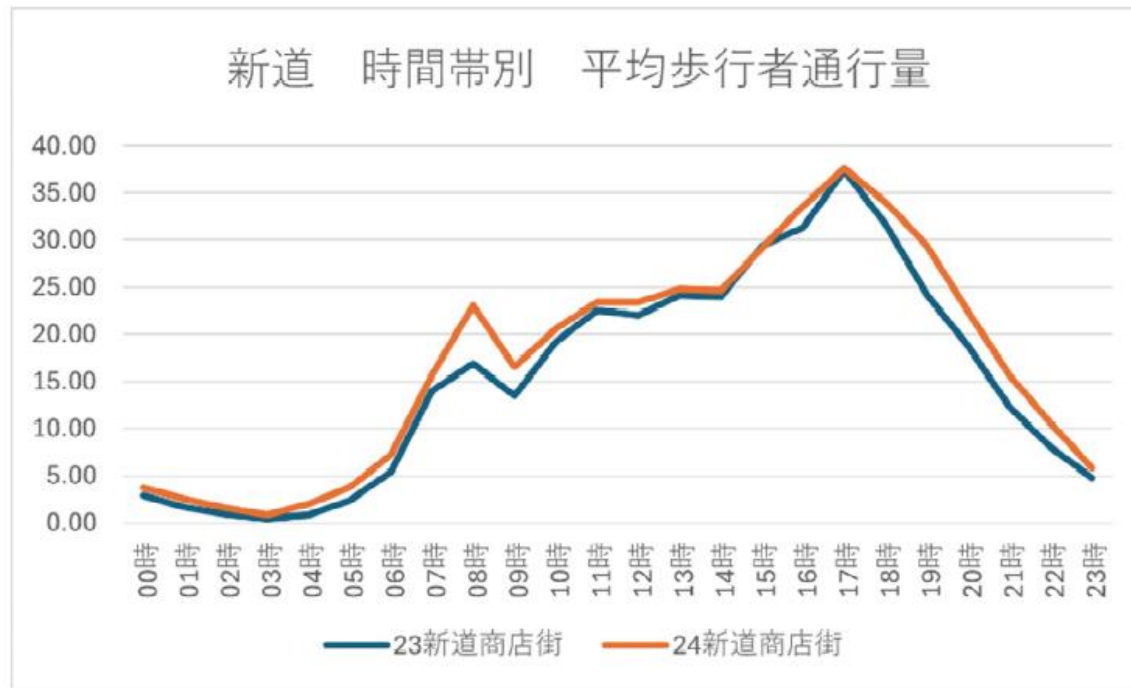


# AIカメラを用いた商店街の通行料データ取得



## 設置場所

明倫商店街、伊勢市駅前商店街、伊勢銀座新道商店街、伊勢高柳商店街、外宮参道



カメラ・関連機器



# AIカメラで取得したデータの分析



歩行者の通行量を取得



取組の効果検証、イベントの実施、商店街活性化、安全対策への活用 など

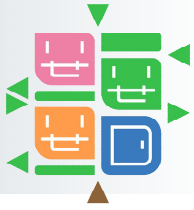


他のデータと組み合わせることで、様々な活用が可能！

歩行者通行量

×

(例) 曜日、時間、天気、季節、イベント、交通



## 蓮台寺柿を将来世代へつなげていくために

### ① データ取得・可視化

- 生産者にアンケートを実施
- アンケート回答を可視化



### ② 単価UPの課題発見・解決

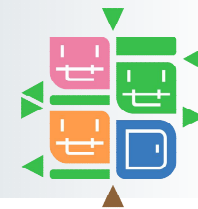
- 蓮台寺柿の単価を上げる必要がある
- 蓮台寺柿の単価を上げることで生産者が潤う



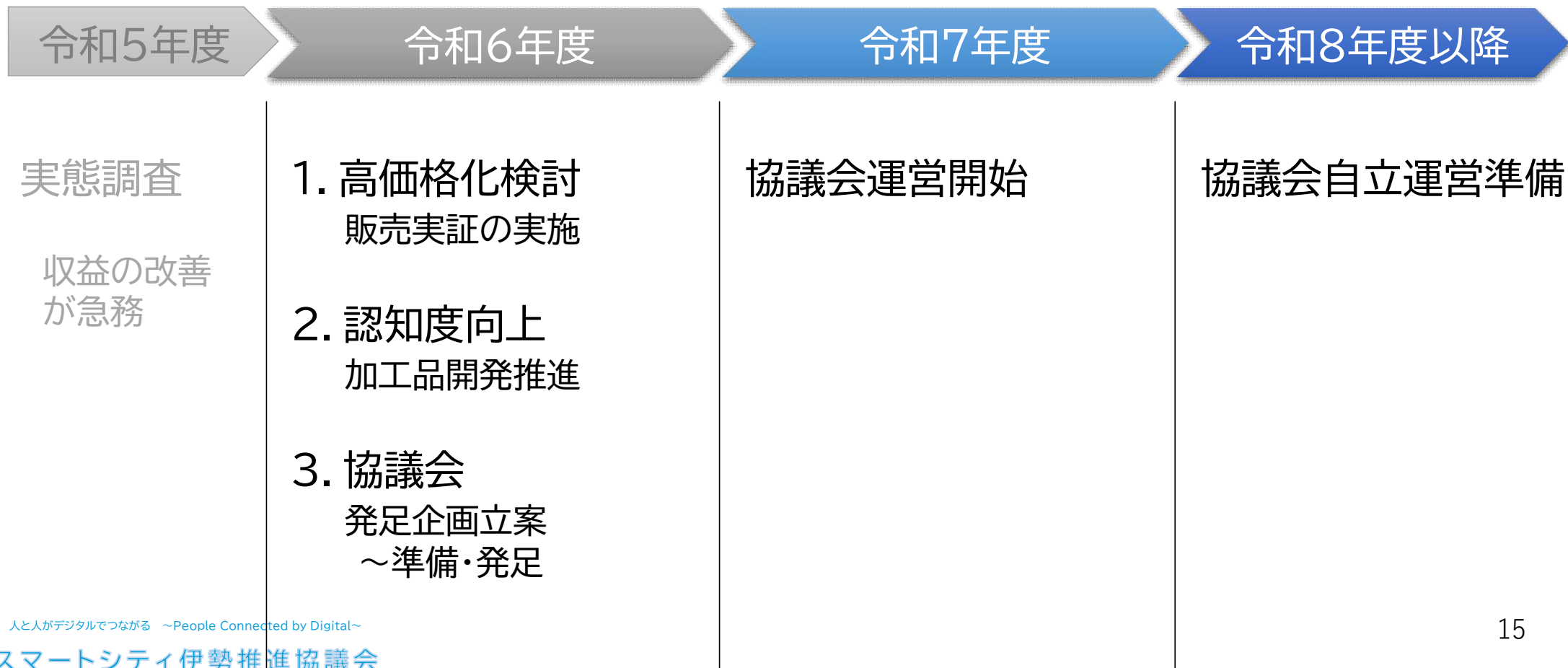
### ③ デジタル技術の活用

- 潤ったら、新たな投資意欲が出る？
- デジタル技術への投資も視野に入るかも？

# 蓮台寺柿の高付加価値化スケジュール



## <年度別取組みの内容>



# 鳥獣被害防止アプリ「けものおと」



## 概要

伊勢市では、ICT(情報通信技術)を活用した獣害対策として、スマートフォンなどのアプリから鳥獣の出没情報の投稿や閲覧が出来る、鳥獣被害予防アプリ「けものおと」を導入しました。

○運用開始日 令和7年5月1日

○主な機能 もくげき投稿・もくげきマップ・もくげきリスト・けもの予報(出没場所が近い場合のアラート機能)・その他(ほかく報告、ほかく通知機能) など



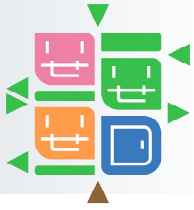
Android



ios  
(iphone,ipad)



# 鳥獣被害防止アプリ「けものおと」



## もくげき投稿



目撃情報を自ら投稿することや他人の投稿を閲覧可能

## もくげきマップ



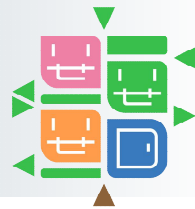
目撃情報が多い場所をヒートマップで表示

## けもの予報

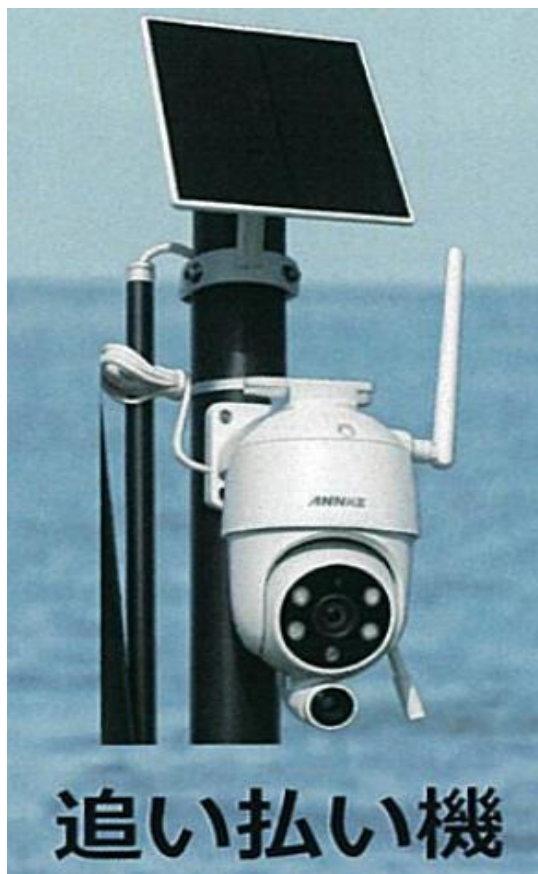


目撃場所に近付くとアプリのアラームでお知らせ!

# ノリ養殖を食害から守る「めたましーど」



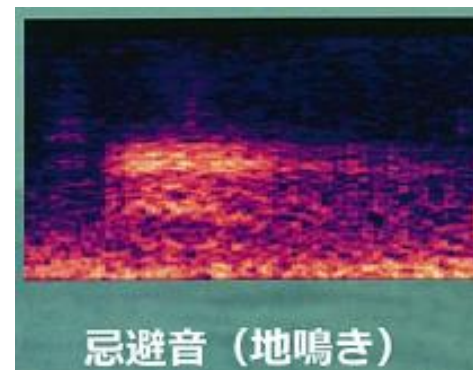
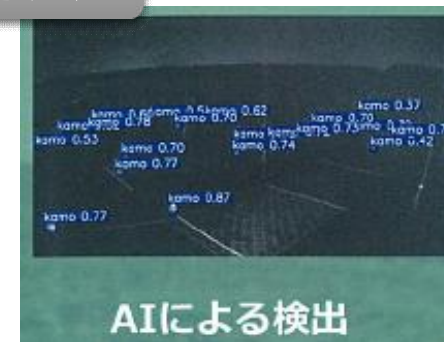
## 概要



AIと音、レーザーを組み合わせた追い払い機。

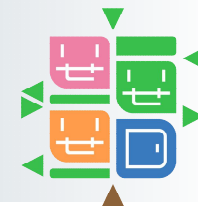
AIによりカモが検出された場合のみ作動し、高い学習能力を持つカモの「慣れ」を防ぎます。

## 追い払い方法



ノリAIでカモを検出し、嫌いな音で警戒させ、レーザー照射で追い払います。

# 自動運転



## ● レベルと概要

レベル	概要
1	<b>【運転支援】</b> 車両が特定の運転機能を支援。運転者が基本的な操作を行う。
2	<b>【部分的な運転自動化】</b> 一定条件下で複数の運転操作を同時に自動化。 運転者は常に監視・操作の準備が必要。
3	<b>【条件付き運転自動化】</b> 特定条件下で完全に運転操作するが、システムが対応できない場合は運転者への引継ぎを要求。
4	<b>【高度な運転自動化】</b> 特定条件下で完全な運転操作を行い、運転者の介入を不要とする。
5	<b>【完全自動化】</b> どのような環境下でも車両が完全に自動運転を実行し、運転者の介入を一切必要としない。

# 自動運転



## 今後の計画

《2025年度》  
「五十鈴川駅～伊勢神宮内宮」までの区間でレベル2  
による自動運転実証運行

《～2027年度》  
「五十鈴川駅～伊勢神宮内宮」の区間でレベル4によ  
る営業運転を実施

《2027年度～》  
段階的に運行区間を拡大  
伊勢市駅～伊勢神宮外宮～内宮を結ぶ、  
三重交通株式会社が運行する「外宮内宮線」に自動  
運転サービスを導入



# キャッシュレス決済の導入



これまでに市役所窓口や、スポーツ施設や貸館などの市民が利用する **31施設で導入済!**

利用の多い施設では… 約4か月で**100万円**を超える利用料も!

がん検診・歯科検診・休日夜間応急診療所(2025年3月1日から、PayPayのみ先行導入済)では、**令和7年度中にクレジットカード等、様々な決済種別に対応**できるようにキャッシュレス決済端末を導入予定。

**PayPay利用件数**  
(2025年6月末時点)

がん検診:17件  
歯科検診:8件  
休日夜間応急診療所:16件

# デジタルポスターコンクール



市内在住・在学の中学生を対象に

パソコンやタブレットなどを使用し  
**デジタルポスターを作成**してもらう

- ✓ 学校から付与されたiPadにインストールされているアプリを用いて作成可能
- ✓ 生成AIの利用は不可

人と人がデジタルでつながる ~People Connected by Digital~

スマートシティ伊勢推進協議会





## 2. 検討中の取り組み

# 電子母子手帳の導入検討



予防接種モ! 成長記録モ! 街の育児情報モ!  
妊娠から出産、育児までをフルサポート。  
地域とつながる、安心の子育て支援アプリです。

無料



会員登録・ログインはこちら

[お困りの方はこちら >](#)

対応OS : iOS 15以上、Android 8以上

※母子モでは、アプリをご利用いただけない環境の方々向けにWEB版もご用意しております。



人と人がデジタルでつながる ~People Connected by Digital~

スマートシティ伊勢推進協議会

# 電子母子手帳の導入検討



## 今後の国の動き

令和7年度: ガイドラインを策定

令和8年度: 電子母子手帳の普及を含む母子保健DXの全国展開

## メリット

- ・健康管理をより便利に効率的に
- ・医療機関受診時に、紙の母子健康手帳を持ち歩いていなくても、情報を医療機関が閲覧できる
- ・汚損や紛失により情報が失われることもないので、災害時や救急時にも、医療機関等で迅速に必要な情報を確認することができる
- ・里帰り等の自治体間の移動でも、紙の母子手帳がなくても情報共有ができる



### 3. 各団体の取組状況



## 4. 取組紹介ホームページについて



## 農業・漁業分野の取組

スマートシティ伊勢推進協議会に設置されている「農業・漁業部会」の構成団体の取組を紹介します。

### 出荷連絡のデジタル化【伊勢農業協同組合】

伊勢農業協同組合では、令和4年度に生産物の出荷連絡をデジタル化しました。

従来は紙で運用していましたが、現場からデジタル化の要望があったことから、スマートフォン等で出荷連絡を行える仕組みを組合職員が構築しました。

利用率は6割以上でかぼちゃ農家を中心に好評いただいているほか、組合職員の作業時間も毎日2～3時間削減できており、農家及び組合職員の双方にメリットのある取組となっています。



## 医療・福祉分野の取組

スマートシティ伊勢推進協議会に設置されている「医療・福祉部会」の構成団体の取組を紹介します。

### 会員間のコミュニケーションへのLINE WORKSの活用【伊勢地区医師会】



伊勢地区医師会では、令和6年6月から会員間のコミュニケーションツールとしてLINE WORKSを導入しています。

会員間の情報共有やスケジュール管理に活用しているほか、令和6年8月に発生した南海トラフ地震臨時情報の際には、安否確認の手段として使用しました。

情報をスマートフォン等でいつでもどこでも確認できるため、利用者からは好評意見が多く集まっており、ペーパーレスや郵便代の削減にも繋がっています。